

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	外科学概論2	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書は「外科学概論」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	富永 幸治	実務経験の有無・職種	有・医師		
学習目的					
<p>柔道整復師は医療資格であり、資格取得後に患者の患部へ施術をすることを業務とするため人体の構造と機能を熟知する必要がある。しかしながら医療現場では柔道整復師の業務範囲外の疾病と思われる患者に遭遇することがあり、速やかに医師の診断を仰ぐ必要が出てくる。特に内科的な疾患の診断に加え、外科的な診断が必要となる患者の場合、外科学的知識を学ぶことで医師へ必要な情報を伝えることができる。国民の健康向上を担う医療人として人材の育成がこの科目を受講する学生の目的となる。</p>					
到達目標					
<p>この科目を学ぶことで、創傷治癒、感染の知識、抗菌薬の使用法、各種栄養管理法を中心とした術前術後管理の知識、臨床病理学的知識とこれに基づいた切除検体の取り扱い、術後患者の長期経過における各種機能障害の予防法と治療法などの知識が深められる。また、心肺蘇生法を学ぶことで要救助者に対して、今や一般市民も行える一次救命処置（BLS）の気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫について熟知することができる。これにより施術上、注意が求められる医療過誤を防止する知識の土台を形成することを目標にしている。</p>					
教育方法等					
授業概要	教科書を中心として授業を進める。症状・診断法・外傷などの柔道整復師として求められる知識量に配慮した内容により臨床現場において必要な能力を育成する。				
注意点	国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	心肺蘇生術	倒れた人の評価方法や心肺蘇生法の実際（胸骨圧迫など）について理解する			
2回	麻酔①	麻酔の種類ならびに全身麻酔法の術中管理と心配される合併症について理解する			
3回	麻酔②	局所麻酔法の種類と緩和ケアについて理解する			
4回	代謝 栄養	高カロリー輸液の適応と維持・管理ならびに合併症について理解する			
5回	消毒 滅菌	主な消毒薬の特徴と適応ならびに滅菌方法について理解する			
6回	脳神経疾患①	脳神経疾患の主要徴候（意識障害・頭痛・てんかんなど）について理解する			
7回	脳神経疾患②	中枢性疾患特有な病態や画像観察について理解する			
8回	後期7週までの振り返りと確認演習	1回～7回までの知識が蓄積されているか確認する			
9回	脳神経疾患③	主な脳・神経疾患（頭部外傷・脳血管障害・脳腫瘍）について理解する			
10回	消化器疾患①	主な検査方法（X線・内視鏡・CT・MRIなど）について理解する			
11回	消化器疾患②	代表的腹部外科疾患のうち食道部・胃十二指腸部疾患について理解する			
12回	消化器疾患③	代表的腹部外科疾患のうち大腸部や肝臓・胆嚢・膵臓疾患について理解する			
13回	消化器疾患④	代表的腹部外科疾患のうちその他の腹部外科疾患について理解する			
14回	後期13週までの振り返りと確認演習	9回～13回までの知識が蓄積されているか確認する			
15回	まとめ	半期で取得した知識の確認			